

さくら市 議会だより



令和5年5月1日
No. **73**
2023年

ちよ
うど
いい!
さくら市



SAKURA
CITY

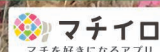
《市民すべてが暮らしやすいと実感できる、魅力あふれる「さくら市」を目指して》



目次



- ◆ 令和5年第1回定例会のあらまし…… 2
- ◆ 各常任委員会(総務・文教厚生・建設経済) 3～5
- ◆ 予算審査特別委員会……6～7
- ◆ 議会のいろは……8～9
- ◆ 一般質問 ここが聞きたい ……10～15
- ◆ 先進地に学ぶ(議員全体研修) …16～17
- ◆ 議会レポート・議会の動き ……18
- ◆ どうなったんべ あの質問は ……19
- ◆ 市民の声・次回の定例会の予定……20



環境を守るための条例を強化

「第1回 定例会のあらまし」

令和5年第1回定例会が2月24日から3月16日まで開催され、令和4年度一般会計補正予算等の議案29件、議員案2件、追加議案4件を原案通り可決、同意し、報告・追加報告併せて2件を受けました。一般質問では6名が市政について問いました。

上程された主な議案

令和4年度一般会計補正予算（第12号）

○小学校施設長寿命化改良事業

老朽化した喜連川小学校屋内運動場の長寿命化工事を行うもの。また、事業の進捗に伴い各事業費の減額等を行うもの。

8,900万円

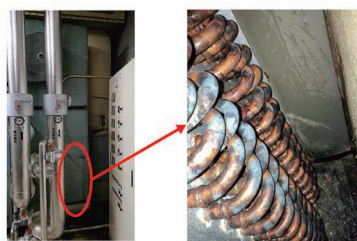


令和4年度一般会計補正予算（第13号）

○氏家公民館運営事業

冬季に破損した氏家公民館ホール空調設備の破損箇所を交換工事するもの。

750万円



令和5年度一般会計補正予算（第1号）

○新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費。

2億4,187万1千円



さくら市の豊かな自然環境と太陽光発電施設との調和に関する条例の制定について

地域と共生して調和のとれた太陽光発電事業を促進するために必要な事項を定めるため、条例を制定するもの。

さくら市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部改正について

不正埋立てに対する規制を強化するため、所要の改正を行うもの。

固定資産評価審査委員会委員の選任同意

- 佐々木 啓祐 氏（馬場）
- 津浦 孝夫 氏（穂積）
- 川崎 保成 氏（馬場）

●会議結果・賛否の公表については市ホームページをご覧ください。

「さくら市ホームページ ▶ さくら市議会 ▶ 定例会」



定例会 QRコード

総務常任委員会

◎大河原 千晶 ○吉田 雄次
落合 千枝子・永井 孝叔・渋井 康男・手塚 定

議案第11号 さくら市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について 可決

- Q 団長等の報酬額について以前改正があったが、改正の時期と改正前の報酬額は。
- A 平成27年12月に団長の報酬額においては17万円から20万円に増額し、各階級の報酬額も増額を行った。
- Q 今回の条例改正でどれだけの実績を見込んでいるか。
- A 令和4年においては10回の火災で延べ2500人ほどの出動があった。出動時間によって報酬額は変わってくるが、例年10回から15回程度火災があり、延べ2000人から3000人が出動する。それらを見込んで新年度の予算も上程している。

議案第12号 令和4年度さくら市一般会計補正予算（第12号）【所管分】 可決

- Q 市内LAN管理事業において、通信運搬費については業者の見直しによつての減額であるとの説明があったが、その見直しは定期的に行っているのか。
- A IT産業はめまぐるしく情勢が変わるので、見直せるものは毎年見直しをして経費を削減している。また、5年契約の更新時には大幅な見直しを行っている。
- Q 女性防火クラブ活動事業に関して、女性防火クラブの会員数、活動内容は。
- A 会員は32名で、火災予防週間での活動、啓発活動や講習会の参加が主な事業である。

議案第26号 南和田辺地に係る総合整備計画の変更について 可決

- Q 今回橋梁の整備計画が追加となったが、橋梁の改修は南和田地区だけなのか。
- A 江川の河川改修に伴う橋梁のかけ替えは南和田だけでなく鹿子畑まで実施する。辺地債を充当するのが南和田地内で、橋が広がる部分のみさくら市が負担する。
- Q 辺地債の使い道はある程度限定されていると思うが、公共的な施設の改修に使用することはできないのか。
- A 地域のコミュニティ施設、公民館なども対象施設である。辺地債を活用するには、計画を策定して国に認められる必要があるが、現在自治体にとって有利な辺地債が全国で注目されており、起債の取り合いになっている。国で辺地債枠が決められており、緊急度や必要度が認められることで許可が出るが、今後辺地債を利用するのも厳しい状況になってくると考えている。

《現地調査》

- 將軍桜
- 南和田辺地に係る総合整備計画の変更箇所



將軍桜



中橋（南和田）



下橋（南和田）

文教厚生常任委員会

◎笹沼 昭司 ○鈴木 恒充
加藤 誠一・福田 克之・石岡 祐二・矢澤 功

議案第3号 さくら市の豊かな自然環境と太陽光発電施設との調和に関する条例の制定について 可決

Q 設置の届け出の際に、維持管理の計画書の提出も必要なのか。また開発に関する条例に法的な縛りはあるのか。

A 計画書の提出を義務づけている。また設置許可の基準を定めており、その中には法令に基づく基準も含まれる。

Q 抑制区域の名称はどのように指定していくのか。

A 法令ですでに定めている地区を抑制区域に指定していく。

議案第12号 令和4年度さくら市一般会計補正予算（第12号）【所管分】 可決

Q 子ども子育て支援推進事業で、送迎バスに確認ブザーを取り付けるための補助金制度があるが、設置時期と対象台数は。

A 設置は4月以降となる。対象は私立幼稚園2園9台を予定している。

Q 民間保育園（氏家ヒカリ園）の認定こども園移行に関し、どのような指導、手続きを行ったのか。

A 認定こども園移行には、県の認定が必要で、県が定める基準を満たす必要があり、書面と立会の審査が行われた。給付費を受けるためには市も認める必要があり、立入調査を行い園の状況を確認した。施設の改修等は必要なく、令和4年4月から認定こども園として運営している。

議案第14号 令和4年度さくら市国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 可決

議案第15号 令和4年度さくら市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 可決

陳情第2号 子供の健全な成長・発達のための教育活動を求める陳情 不採択

陳情事項：①子ども達個人の意見を尊重するため、「マスクを息苦しいと感じるときに外すよう声掛けする」こと。またマスクを着用しない子どもに対する差別や圧力が生じないよう教育委員会より学校等へ通達すること。

②「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」(文部科学省)の改正に伴い、保育園・学校等での「黙食」を緩和し、机の配置や小声での会話を楽しめる、楽しく味わう「食育」の場にする。

不採択理由：陳情の内容についてはすでに実施されており、現行の状況にそぐわない為。

《現地調査》

- 穂積体育館
- 喜連川保健センター
- 氏家公民館
- 太陽光発電施設
- ミュージアム
- 喜連川B&G海洋センター
- 氏家小学校



穂積体育館（雨漏り）



喜連川 B&G 海洋センター



喜連川保健センター（雨漏り）

建設経済常任委員会

◎小堀 勇人 ○岡村 浩雅
高瀬 一徳・加藤 朋子・若見 孝信・角田 憲治

議案第8号 さくら市道路占用料徴収条例の一部改正について 可決

議案第9号 さくら市公共物管理及び使用料条例の一部改正について 可決

議案第10号 さくら市営住宅管理条例の一部改正について 可決

議案第12号 令和4年度さくら市一般会計補正予算（第12号）【所管分】 可決

Q スマート農業普及促進事業補助金について、その内容と、申請がまったく無かった理由は。

A 補助の対象となるものは、主に農業機械で、無人で操作するトラクターや田植え機などである。相談は何件もあったが、採択要件で、「申請年度の水田経営面積が20ヘクタール以上で、申請年度の3年後までに水田経営面積の2割以上の拡大」という条件があり、ハードルが高く申請するまでに至らなかった。

Q 地元応援キャッシュレスポイント還元事業について補正を組んだが、最終的には予算が余る結果となった。今後もある程度期間を置いて、再度実施する予定はあるのか。

A 商業の振興という観点では、効果的な事業であると評価しているため、国の交付金等の財源が確保できれば実施について検討したい。

議案第13号 令和4年度氏家都市計画事業 上阿久津台地土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号） 可決

議案第27号 町又は字の区域変更について 可決

議案第28号 市道路線の認定について 可決

Q 分譲住宅地内の道路で認定になっていない路線はどのくらいあるのか。

A 開発行為で市に帰属された道路は、認定をしていく必要がある。現在44路線あり、そのうち今回を含め17路線が認定されているので、残り27路線を今後計画的に認定することを考えている。また認定をした後区域を決定し、台帳や調書を作成したり、平面図を作成する業務が必要なことから、予算を確保しながら計画的に進めていきたい。

議案第29号 市道路線の廃止について 可決

《現地調査》

- 勝山公園
- 喜連川保健センター
- 市道路線認定及び廃止箇所
- 穂積体育館
- お丸山公園



勝山公園（桜の見本園）



お丸山公園（トイレの設置箇所）



勝山パークブリッジ（鋼材の腐食）

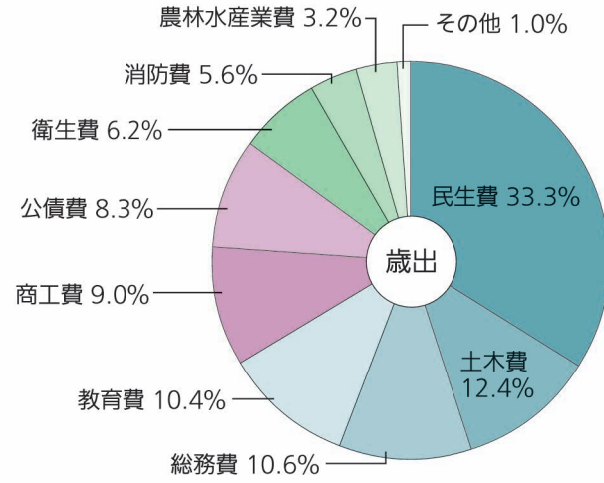
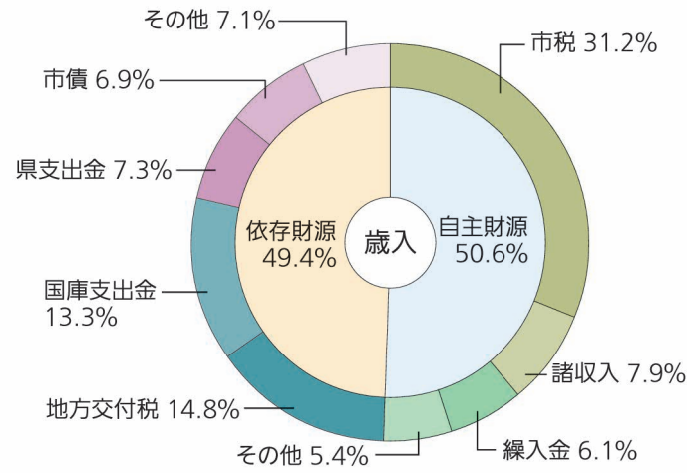
新年度予算 一般会計予算 前年度対比6.3%増の207億9千万円

予算審査特別委員会

◎若見 孝信 ○加藤 朋子
他議員全員

予算審査特別委員会では、3月3日、6日、7日の3日間にわたり、全委員出席のもと開催しました。一般会計、特別会計、企業会計予算について、慎重に審査を行い全委員賛成のもと原案のとおり可決すべきものと決しました。

一般会計の内訳



市長への要望事項

1 「行政区重視の市政」について

早期に各行政区における課題等の抽出・整理に取組み、解決に向けた方策の検討に取り組んでもらいたい。

2 ふるさとづくり寄附事業について

自治体間の競争が激しくなっているが、自主財源の確保を目指して取り組んでもらいたい。その際、さくら市のPRにつながるさくらブランド認証事業との連携についても十分検討願いたい。

3 氏家駅東地区魅力向上事業について

地元との意見交換等を十分に行い、合意形成を図りながら計画推進に努めてもらいたい。

4 農業振興について

農業者への支援が農産物の売上向上に繋がってくるので、最大限の効果が得られるよう有効な予算執行を願いたい。

5 まち 花と緑の小都市推進について

すでに着手している勝山公園、お丸山や早乙女桜並木の整備などの事業を着実に推進し、桜の名所となるよう適切な予算執行に努めるよう、強く要望する。

6 子育て・教育について

県内一子どもの割合が多いさくら市を継続するためには子どもたちへの支援、環境の整備は欠かせないことなので、より一層取り組んでほしい。

7 公共施設について

修繕と長寿命化は事業として別に捉える必要がある。市民の利活用に支障がないよう適切な管理に努めてもらいたい。

令和5年度予算 目玉事業

市予算を、「予算審査特別委員会」で慎重審議し、すべての会計予算を可決しました。そのなかで、議会が目玉事業を紹介しました。

暮らしを支える強固な経済基盤づくり(ポストコロナ)

中小企業振興資金
融資事業

15億3,530万円



自然災害への備え

防災行政無線管理事業

3億6,041万3千円



まち スマートな小都市の実現

地方創生道整備
交付金事業

2億7,840万円



ふるさとの魅力・ブランド力の向上

公園施設長寿命化
対策事業

1億8,300万円



行政区重視の市政

防犯灯電気料補助事業

484万2千円



さくら市の子ども達のために

給食センター水道施設
整備事業

1億4,746万9千円



セーフティネットの強化

任意予防接種事業

2,002万7千円



グリーン社会の実現

脱炭素化普及促進事業

760万円



議会のいろは

Q 地方議会の休暇取得について

令和3年第1回定例会において、「さくら市議会会議規則」が一部改正され、これまで欠席の理由として「自己都合」としてしか扱われていなかった育児・看護・介護・出産等が明文化されました。

Q どう変わったの？

①「出産予定日の6週間前から出産後8週間まで」という表記が明文化されました。



②欠席の理由に、育児、看護、介護、配偶者の出産補助なども加わりました。



Q どうして変わったの？

労働基準法では女性労働者の産休を規定していましたが、特別職の議員には同法が適用されませんでした。

そのため、これまでは欠席理由が「出産」の場合、本人が欠席日数を決めて議長に届け出る方式で、議会内で理解が得られなかったり、本人が遠慮したりして、十分に休めないケースが少なくありませんでした。

こうした中、都道府県議会、市議会、町村議会の3つの議長会は、女性や若い世代を中心に地方議員のなり手を確保するため、各地方議会が議会運営の規則を定める際に参考にする「標準会議規則」を改正しました。

出産予定日まで議会
に出席していた。



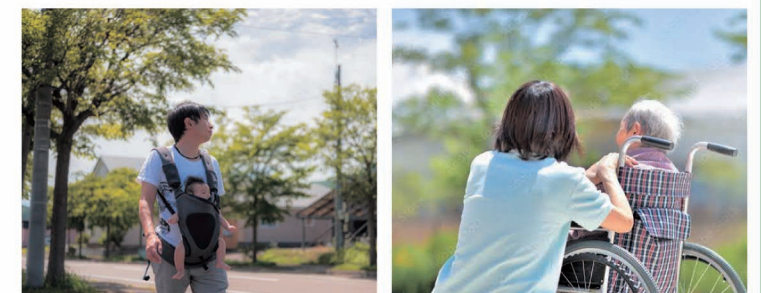
出産から3日後に議
会に出席。痛み止め
を注射して車椅子で
出席した。

全国で実際にあった声

出典 内閣府アンケート調査より

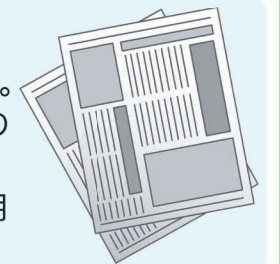
Q 議会の場にも多様な社会を

議員の休暇を個人の問題としてではなく、地域を住みやすく活力あるものにするために不可欠な仕組みとすることで、多様な人材を政治の意思決定の場に増やすきっかけとなります。それにより社会はよりよい方向へ変わっていくことにつながります。



さくら市では…

令和3年9月、会議規則が改正後、県内でも初めて産休が適用されました。また、さくら市議会では当時妊娠中だった議員に配慮してオンラインでの委員会や特別委員会の開催も県内でも先駆けて行われました。そのことは下野新聞でも取り上げられ、令和3年9月18日、令和5年3月15日に記事が掲載されました。



議会だよりは市内公共施設で入手できます。
また、置いてくださるところを募集しています。



議会HPへ

議会のいろは

議会のいろは